
不思議夢。

石本公也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
不思議夢。

【Nコード】
N9506X

【作者名】
石本公也

【あらすじ】
私自身が見た夢の事。それは死後の事だった

夢とは不思議なものをたまに見せる。正夢、悪夢。時には別れた大切な人と合わせてくれたりもする。私が見た夢も、奇妙と言えるものだった。

その夢を見たのは、半年程前だ。

その夢の内容は、言ってしまうえば私が死んでしまう夢だった。不思議なのは、ただ死んでしまうだけでなく、死後を夢で見っていたのだ。その夢はインパクトが強く、今でも思い出せる。

夢の中で、私はベッドの上に仰向けに寝ていた。そして近くに父親がいた。父親はなにか話していたが、あくまでも夢である。私は、父親が何を喋っていたか聞き取れなかった。

すると父親が何処かに消えた。夢の中の私は、部屋から出て行ったのだらうと考え、天井を見た。

その時、心臓にドクンと衝撃が走って、目の前が真っ暗になった。ふと気がつくと、私の目の前には、写真や映像でしか見た事のない雄大な大地が広がっていた。イメージ的に、動物番組でよく見るアフリカのサバンナの様な所だ。

私は仰向けに寝ていたので、体を起こした。

その時

「あの…もしよろしかったら、この中から三匹、向こうの方に連れて行ってくれないませんか？」

ふいに声をかけられた。振り返ると、青いマントを羽織った人物がいた。顔は見えない。マントの他に着ている物はなさそうだが、何故か肌が見えなかった。声は女の声だった。

その人物の後ろには、沢山の動物がいた。詳しくは覚えていない。私は、その中から、キリンとうさぎと鷹の様な鳥を選び、連れて行く事にした。

やはり夢と言うのは都合が良く、何故か持っていた綱が動物達に括り付けられていた。

私は綱を持ち、謎の人物が指差した気がした方向に歩いて行った。夢の都合の良さは本当に驚く。

何時間もかかると思っていたが、すぐに目的地についたからだ。

今思えば、方向しか指示されていなかったのに、どうしてそこが目的地と分かったのだろう。とりあえず夢の都合としておく。

目的地で動物と離れ、私は歩き出した。さっきまでサバンの様な所にいたのに、私が歩いているのはコンクリートの道だった。

しばらく歩いていると、人がいた。奥に進むと、さらに人がいた。

その人達は同じ所に向かっていている様なので、私はついて行く事にした。私の周りにいる人を見ると、皆、ひたいに黒い何かがあった。

さらに私はそれを不思議がらなかった。

気がつくと目の前には、ターミナルの様な大きな建物があった。周りの人に流される様にして、二階から建物に入った。建物に入ると、そこは玩具屋だった。よく見て見ると、棚におかれている商品は、何処かで私が見た事のある玩具だ。

私はそのまま歩いて行く。歩いて行くと、レジの所に行列が出来ていた。

私は玩具を買おうとしてなかったの、レジを無視して通過した。すると不思議な事に、レジの奥の方にあるはずの出口には、扉どころか、床や天井すら見えなかった。だが周りの人がそこに向かって行くのを見て、私もそこに向かって歩き出した。

その時、私は家族によって起こされた。
もし、あの何も見えなかった所に入って行ったら、私は、今でも時々思うのだった。

(後書き)

この文章を読んで下さってありがとうございます。石本です。夢は本当に不思議です。でも夢の中だと、移動してる時とか、単純なことをしてる時のことは覚えてないんですよ。現実はその言つとこの記憶もあるのに。

でもどうせなら、食べ物や腹一杯食べる夢を見たいなあ。

それでは、読んで下さった方。本当にありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9506x/>

不思議夢。

2011年11月11日23時22分発行